

TODA 産業レポート —2025年11月戸田市景気動向調査—

●調査概要

- 実施期間 2025年11月10日(月)～11月30日(日)
- 調査対象 市内事業者1,000社
- 調査方法 WEB調査 (対象者にアンケート回答用のQRコードが記載された文書を郵送し、WEBで回答)
- 回答状況 有効回答数 240社 回答率 24.0%

天気マークと指標	雨	曇/雨	曇	晴/雲	晴
▲100～▲50	▲49～▲20	▲19～19	20～49	50～100	

●調査結果のまとめ

◆戸田市内企業の景況感について

全体	天気	景況感DI	・市内中小企業の景況感は、前期に比べ改善傾向が見られたが(前回から12.51ポイント増加)、先行きについては厳しい状況(現状から4.17ポイント減少)である。 ・原材料と仕入れ価格の上昇は一段落したもの、依然として高い状況は続いているが、利益を創出しづらい状況となっていることがうかがえる。	
	前期	 曇/雨	▲ 28.34	
	現状	 曇	▲ 15.83	
	先行き	 曙/雨	▲ 20.00	

※前期:R6.10～3月、現状:R7.4～9月、先行き:R7.10～3月

※分析についてはDI(景気動向指数:Diffusion Index)を使用

◆全体について

- ・全体としては、前期よりも改善傾向がみられたが、見通しについては悪化傾向にあることから、今後も企業にとって厳しい状況が続く模様。
- ・「生産高・売上高」については、前回から11.12ポイント増加しているが、見通しについては、2.5ポイント減少すると見込まれている。
- ・「原材料・仕入価格」については、前回から5.26ポイント減少しており、見通しについては、さらに0.83ポイント減少すると見込まれている。直近の数年間においてDI値が70以下となつたのは初めてであり、原材料価格の上昇が落ち着いてきたことが見受けられる。しかしながら、依然として全業種で高い水準となっており、利益を創出しづらい状況が続いていることがうかがえる。

【企業業績に影響を与えた(る)外的要因予測】

- 人手不足の深刻化 ○人件費の高騰 ○原材料価格の上昇や海外からの輸入コストの増加による物価の高騰
- 円高への振り戻し(一時的な円安進行の後、円高方向に相場が動き出す現象) ○米国の関税政策の影響
- 日銀の政策金利の利上げ ○「2025年の崖」問題(老朽化・複雑化した既存システムの刷新を怠ることで起こる大規模な経済損失)

【特別調査】

- ・現状直面している経営課題としては、前回調査時と同様に「仕入価格・経費の上昇」が最も多く、次に「人材確保・育成」が多かった。
- ・価格転嫁の状況については、「特に転嫁する必要ない」との回答が最も多かつた一方、次に多い回答は「転嫁できない」であり、原材料・仕入価格高騰に対し、価格転嫁を行いたいができないという企業が多く存在することが分かった。
- ・人材確保・定着のために、直近3年間で取り組んだものとして、最も多く挙げられたのは「賃金の引上げ」であったが、次に多かったのは「特に何もしていない」であり全体の13%を占めていた。
- ・事業承継は、後継者がいる「親族」と回答した企業が78社で、前回調査時より増加。事業の継続を希望する企業が約6割となっており、「事業承継全般」や「後継者の育成」等に悩みや課題がある一方、事業承継やM&Aについて「誰にも相談していない」と回答した企業が多数を占めた。

●業種別

業種	天気	景況感DI	概要
建設業	前期	 曙/雨	▲ 23.08
	現状	 曙	▲ 5.13
	先行き	 曙	0.00
製造業	前期	 曙/雨	▲ 36.11
	現状	 曙/雨	▲ 33.33
	先行き	 曙/雨	▲ 42.42
卸売業/小売業	前期	 曙/雨	▲ 28.00
	現状	 曙/雨	▲ 36.11
	先行き	 曙/雨	▲ 36.11
飲食業	前期	 晴	75.00
	現状	 曙	0.00
	先行き	 曙	0.00
不動産業	前期	 曙	▲ 17.24
	現状	 曙	▲ 6.52
	先行き	 曙	▲ 15.22
サービス業	前期	 曙	▲ 12.20
	現状	 曙	▲ 7.50
	先行き	 曙	▲ 7.50
運輸・通信業	前期	 曙/雨	▲ 37.50
	現状	 曙/雨	▲ 33.33
	先行き	 雨	▲ 60.00
その他(上記以外の業種)	前期	 曙	▲ 18.52
	現状	 曙	▲ 3.70
	先行き	 曙	▲ 7.41

TODA 産業レポート ~戸田市景気動向調査 2025年11月~

[発行] 令和8年1月 戸田市 環境経済部 経済戦略室 戸田市上戸田1-18-1 電:048-441-1800(内線374)